

各位

# 講演会「地震列島の原発がこの国を滅ぼす」ご案内

今年は阪神淡路大震災 30 周年。この 30 年、東日本大震災、1 年前の能登地震等、数多くの地震が起こり、大きな被害をもたらしました。しかし、この国は、福島第一原発の事故を忘れたかのように原発推進に向かおうとしています。

地震列島日本で原発は安全に稼働できるのか、長年原子力安全に関わってこられた小出裕章先生に、久しぶりに滋賀の地でお話をうかがいます。ぜひみなさんご参加ください。

〔日時〕 2025 年 4 月 6 日 (日) 13:00~15:30

〔会場〕 ピアザ淡海 2 階 207 会議室

(JR 膳所駅から徒歩約 12 分・

京阪電車石場駅から徒歩約 5 分)

〔講師〕 元京都大学原子炉実験所助教

小出 裕章 さん

【小出さんからのメッセージ】

日本は地球の陸地面積の 0.25% しかない国ですが、世界で起きる地震の約 2 割が起こります。そして、2011 年 3 月、福島第一原子力発電所が巨大な地震と津波に襲われ、為す術なく破局的な事故を起こしました。原子力推進派はその地震と津波は「想定外」だったとして、14 年経った今も誰一人として責任を取らず、処罰もされていません。多くの日本人はすでに忘れていますが、事故当日発令された「原子力緊急事態宣言」は 14 年経った今も解除できないまま続いています。多数の被害者が苦難を背負わされたままですし、事故自体の収束も 100 年経ってもできません。地震が起きるたびに原発は大丈夫かと心配する生活は終わりにしたいです。

★参加無料 どなたでもご参加いただけます

参加ご希望の方は 4 月 1 日 (火) までに参加者全員の氏名、連絡先をご連絡ください。

TEL 077-522-1152 / FAX 077-525-3093

## ◆小出裕章さん略歴◆

こいで・ひろあき 1949 年、東京生まれ。工学者(原子核工学)。元京都大学原子炉実験所助教。1968 年、原子力の平和利用に夢を抱いて、東北大学工学部原子核工学科に入学。1970 年、女川原子力発電所(宮城県)建設反対の集会に参加したことをきっかけに、原発をやめさせるために原子力の研究を続けることを決意。原子炉実験所に勤務しながら、原発反対の立場から、さまざまな提言、提案を行い続ける。専門は放射線計測、原子力安全。2015 年 3 月、京都大学原子炉実験所を定年退職し、長野県松本に移住。太陽エネルギーを活用する暮らしを実践中。今も原発や憲法についての講演に全国に足を運ぶ。主な著書に、『原発はいらない』『この国は原発事故から何を学んだのか』(いずれも幻冬舎 ルネッサンス新書)、『原発と戦争を推し進める愚かな国、日本』『原発事故は終わっていない』(いずれも毎日新聞出版)、『「最悪」の核施設 六ヶ所再処理工場』(共著 集英社新書)、「地震列島の原発がこの国を滅ぼす」(産学社)などがある。



## 講演会「地震列島の原発がこの国を滅ぼす」(4/6) 参加申込書

主催：滋賀県保険医協会 FAX077-525-3093 (TEL 077-522-1152)

(所属)		TEL FAX
参加者氏名 (全員)		